

公益財団法人とよなか国際交流協会
2017 年度年次報告書 (概要版)

こくりゅう@home 2017

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日 (24 期)

公正で持続可能な多文化共生社会をつくります



とよなか国際交流協会 2017 年度年次報告書（概要版）こくりゅう@home 2017

も ・ く ・ じ

もくじ・とよなか国際交流協会の活動について	2
理事長・事務局長あいさつ	3
外国人をとりまく現状と ATOMS の取り組み	4-5
＜各事業からの報告＞	
・ 学習支援・サンフレイス／子ども母語	6
・ 多文化保育にこにこ／韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい	7
・ 若者支援／とよなかこどもにほんご教室	8
・ 小学校外国語体験活動事業／子ども学習広場「学楽多」	9
・ 多言語相談サービス事業	10-11
・ 国際教育／Filipino Young at Heart' s Club	12
・ 防災事業／平和と共存のための～おまつり地球一周クラス	13
・ 留学生・ホストファミリー事業	14
・ しょうない・おやこでにほんご／おかまち・おやこでにほんご	15
・ せんり・おやこでにほんご／日本語交流活動「千里にほんご」	16
・ 日本語交流活動「もっともつつかえるにほんご」「とよなかにほんご・木ひる」	17
・ 日本語交流活動「とよなかにほんご・金あさ」「にちようがちゃがちゃだん」	18
・ 多文化共生推進事業／ボランティア養成・研修・哲学カフェ	19
・ 持続可能な開発のための教育の 10 年（ESD）とよなか／海外体験学習	20
・ 市民活動協働事業／施設管理受託事業	21
TOPICS	22-23
財務報告	24-25
協力者ご芳名	26
役員紹介／スタッフ紹介	27
事業一覧	28
広告協賛	29-32

とよなか国際交流協会の活動について

～公正で持続可能な多文化共生社会を創ります～

外国人が安心して集える居場所づくり＆エンパワーメントをすすめる事業や多文化共生社会を推進するひとづくりを中心に、さまざまな活動を地域や学校と連携しながら日常的に展開しています。

【活動理念】市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、

世界とつながる多文化共生社会をつくる

受賞歴	
2016. 10	大阪 NPO センター CSO アワード CSO 賞
2014. 01	大阪弁護士会 人権賞
2013. 05	憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
2013. 02	公益財団法人パナソニック教育財団 2012 年度 「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞

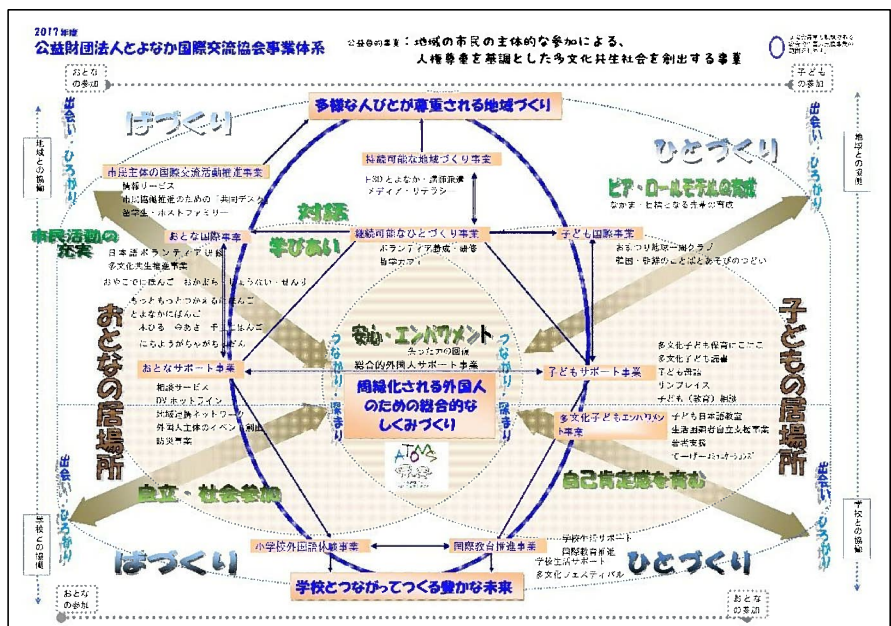
公益財団法人とよなか国際交流協会

住所：大阪府豊中市玉井町 1-1-1-601

エトレ豊中 6 階 とよなか国際交流センター

TEL:06-6843-4343 FAX 06-6843-4375（水曜休館）

E-mail: atoms@a.zaq.jp URL http://www.a-atoms.info



理事長あいさつ

2017 年、初めて故郷の地を踏みました

皆さん、いつも当協会にご支援賜り、誠にありがとうございます。

ご好評につき（ホントです！）、一昨年、昨年に引き続き、今年も当協会の年次報告書（市民向け概要版）を作成いたしました。昨年同様、今年も写真が一杯で、詳細な事業報告書でも伝えきれない雰囲気まで一目でお伝えできる、わかりやすい年次報告書ができたのではないかなと思っています。

この年次報告書を読みながら、当協会の事業評価会の様子を思い出しています。事業評価会は当協会が毎年年度の終わりに行く、全事業の担当者が集まって報告をする、振り返りの会です。限られた時間に多くの事業担当者のご報告をいただくため、報告は1事業数分という制約があり、担当者の方々はその数分で事業内容を説明しようと努力はされるのですが・・・チン「〇分経ちました。報告終わって下さい。」と無情のベル。早口だと伝わりにくいし、ゆっくりだと伝えきれない・・・ああ無念。という感じで事業評価会が進み、終わります。この年次報告書の各事業についての写真やコメントは、そんな各事業担当者の無念を補って余りあるのではないかなと、私は思っています。

「知ってもらう」「来てもらう」「参加してもらう」「支援してもらう」もらうばかりで恐縮ですが、これが当協会のスタッフ一同の強い願いであって、日々そのための工夫をスタッフ一同心がけていると言っても間違いではないと思います。

当協会の事業について、1人でも多くの方々に「知ってもらい」「来てもらい」「参加してもらい」そして「支援してもらう」きっかけとして、この年次報告書が少しでもお役に立てば何よりです。

では皆さん、今後とも当協会をよろしくお願いいたします。

まつもとやすゆき

松本康之（理事長）



事務局長あいさつ



とよなか国際交流協会はボランティアからは「とよなかこくりゅう」や「こくりゅう」と呼ばれます。外国人からは「ATOMS（アトムス）」とか「センター」と呼ばれます。いろいろな名前では呼ばれていますが、そんなこくりゅうも今年の11月18日で25歳。はや、四半世紀です。2018年度には記念の出版やイベントを予定しています。みなさん、どうぞお楽しみに！

さて、2017年度もいろいろな事業が生まれました。千里地域で日本語交流活動「千里にほんご」、フィリピン出身者の高齢化を見据えて始まったコミュニティ活動「Filipino Young at Hearts' Club」。一昨年度立ち上がった「リコン・アラート

（協議離婚問題研究会）」では、離婚に関する一日電話相談会を実施しました。また、大阪府内で外国につながる子どもの教育に関わっている団体と協働でシンポジウムも実施しました。一方で全事業のボランティアと行った事業評価会では、いいところだけでなく、事業同士、外国人コミュニティ同士、地域とのつながりをもっともっと必要ではないかという課題も出ました。

今年度もみなさんの参加、協力、アイデア、工夫と一緒に事務局もがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

やまのうえたかし

山野上隆史（事務局長）

外国人をとりまく現状と ATOMSの取り組み

とよなか国際交流協会

通称 **ATOMS**

基本理念

市民の主体的で広範な参加により、
人権尊重を基調とした国際交流活動を
地域からすすめ、世界とつながる
多文化共生社会をつくる。

事業の三本柱

- ① 多様な人々が尊重される地域づくり
- ② 周縁化される外国人のための
総合的なしくみづくり
- ③ 学校とつながってつくる豊かな未来

◎ 豊中市の外国人人口と国籍数 [2018年3月末]

人口 5,436人 この2年で外国人の数は
10%以上増加しています
→ 人口の約1.3%

国籍数 91ヶ国・地域

国・地域別の上位10

1	韓国・朝鮮	2,034人
2	中国	1,517人
3	ベトナム	344人
4	フィリピン	217人
5	台湾	165人
6	米国	124人
7	インドネシア	123人
8	インド	113人
9	ネパール	100人
10	タイ	56人

◎ センターの年間利用者数 [2017年度]

84,755人 うち 外国人 **33,893人**

→ 全体の約40%

取り組み①

外国人のライフステージに沿った多様な支援

乳幼児

- 多文化子ども保育「にこにこ」
- おやこでにほんご → おかまち、しょうない、せんり



こども

- こども母語 → 中国、スペイン、ポルトガル、タイ語（計4言語）
- 学習支援「サンプレイス」
- 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい
- こども日本語教室



わかもの

- 若者支援事業 → たまりば、相談、にほんご
- 留学生・ホストファミリー事業



おとな

- 日本語交流活動 → もっともっとなかえるにほんご、木ひる、金あさ、にちようがちゃがちゃだん、千里にほんご
- 多言語での相談サービス → 英語、韓国・朝鮮語、中国語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語、フィリピン語（計10言語）
- おやこでにほんご



高齢者

- 多言語での相談サービス
- Filipino Young at Heart's Club
（フィリピン人の中高年支援事業）



日本語指導を必要とする子どもの数

〔全国〕・外国籍の子ども 34,335人
・日本国籍の子ども 9,612人
〔大阪府〕 2,275人

豊中市内の外国人児童・生徒 147人
帰国児童・生徒 92人

国際結婚の割合(全国)
30組に1組

2017年
スタート

豊中市の外国人高齢者[※]の数 653人

→ 高齢化率は12.0%

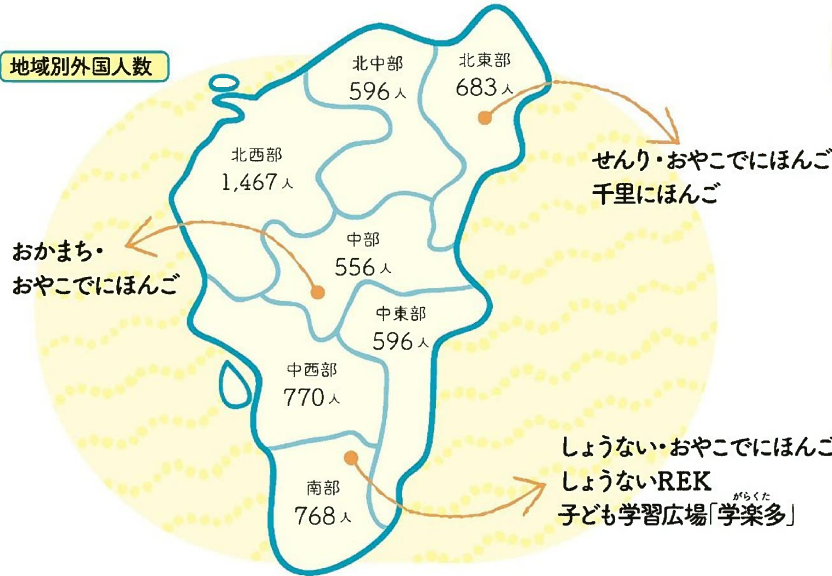
豊中市全体の高齢化率 24.0%

〔参考〕日本全体の高齢化率 27.3%
全国の外国人高齢化率 6.6% ※65歳以上

取り組み②

センターから飛び出して実施している事業

地域別外国人人数



Facebookページ

とよなか国際交流協会

で検索!



コモ & スース

取り組み③

地域で活動する市民ボランティア

ATOMSで活動するボランティア 約480人

にほんごボランティア	137人
ママさんボランティア	30人
大学生・高校生ボランティア	33人
外国人ボランティア	76人
ホストファミリーボランティア	134家族
《参考》賛助会員: 285人(うち団体会員8団体) など	

取り組み④

さまざまな団体と一緒に取り組む活動



学校との協働

- 小学校外国語体験活動
- 多文化フェスティバル
- 講師派遣
- 多言語による進路ガイダンス



図書館との協働

- 「おやこでにほんご」
→ 岡町、庄内、千里図書館
- 多文化子ども読書推進事業



地域のさまざまな団体との連携

- しょうないREK
→ 外国にルーツを持つ中学生のための進路相談会@庄内 など
- 豊中市スポーツ振興事業団
→ 「サムライプロジェクト」(外国人のための武道体験)
- とよなか国際交流センター登録団体との連携
→ 国際交流フェスタ など
- 共同デスク※
→ 壁新聞の発行、情報共有・連携



※(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、とよなか市民公益活動協議体らっぷ、(公財)とよなか国際交流協会の6団体が共同運営している事業。

受賞歴

- 2016.10 大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞
- 2014.01 第13回大阪弁護士会 人権賞
- 2013.05 憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
- 2013.02 公益財団法人パナソニック教育財団 2012年度「子どもたちの「こころを育む活動」」奨励賞

◆ (公財)とよなか国際交流協会は指定管理者としてとよなか国際交流センターの管理・運営を行っています。

各事業からの報告

こども
サポート
事業

学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもたちのための居場所づくり。大学生ボランティアが運営しています。
毎週日曜日 13:00～15:00（第一日曜日は休み）



ボランティアより

2017 年度を
振り返って

サンプレイスのボランティアはいつも子どもたちの傍にいます。

“外国にルーツを持つ子ども”を対象として、と言っても子どもたちは一人ひとり違います。その日やりたいこともみんな違います。でも、サンプレイスではその“違い”をとて大事にしています。思い切り自分のやりたいことが言える。そしてできる。それがサンプレイスです。今年度から新しいゲームやおもちも増えて、さらに新しい場所になりました。

学習したり、遊んだり、なんでもできる居場所で毎週元気な子どもたちと一緒に活動することが出来ました。

2018 年度に向けて

2017 年度は予定していた遠足が台風で中止になってしまい、大きなイベントが少なく子どもたちにちょっぴりさみしい思いをさせてしまいました。が！今年は、昨年の悲しみを吹き飛ばすくらいたくさん遠足にも行きたいと考えています。ボランティアも頑張るので、みんないつでもぶら～と来てネ！待ってるよ！



写真上) ゲームをしたり、ビリヤードや卓球をしたり、宿題をしたり、思い思いの時間を過ごします。
写真下右) 夏休みの恒例イベント・そうめん流しを母語とサンプレと合同で行いました
写真下左) 子ども・若者事業のボランティア、コーディネートで合宿を行いました@河内長野

こども
サポート
事業

こども母語

外国にルーツをもつ子どものための母語教室。中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語を開講しています。
講師はそれぞれのルーツをもつ若者です。
第2、第4日曜日 10:00～12:00



写真上) 文字を書くだけでなく、体を使ったりしながら楽しく学んでいます
写真下) 四言語の合同イベントで、餃子とパッタイ（タイの焼きそば）を作りました。



ボランティアより

2017 年度を振り返って

こども母語では、普段の教室に加えてブラジルのパステウ、中国の餃子、タイのパッタイ（番外編で韓国のトックモ）を自分たちで作って食べたり、ペルーのサルサというダンスをみんなで踊ったり、中国の伝統的なおもちゃで遊んだりたくさん“文化”に触れることが出来ました。また、同じクラスの仲間だけでなく、他の言語の仲間とも1年間を通じて仲良くなり、つながりが広がった年でした。

2018 年度に向けて

もっともっとたくさん子どもたちに「こども母語に行きたい！」と思ってもらえるように、楽しいイベントや知らなかったあんなことやこんなことを学べる場を作っていきたいと思っています。

こども
サポート
事業

多文化子ども保育「にここ」

外国にルーツをもつ乳幼児のための保育活動。保育ボランティアが運営しています。
毎週木曜日 13:30～15:30 / 金曜日 10:30～12:00

ボランティアより

2018 年度に向けて

外国にルーツをもつ親子が、他の子どもと一緒にあそんだり、こどもと離れて日本語活動に参加したり、親同士やボランティアと話をしたり、本を読んだり、自分の時間を持つお手伝いができればいいと思っています。

2017 年度を振り返って

多文化の子どもたちが一緒にセンター内のプレイルームで遊んでいます。年齢や国が違っても子どもたちの世界は同じです。言葉が通じなくてもアイコンタクトで話をしたり、少しずつ言葉を発するようになったり、日々の成長には素晴らしいものがあります。保護者が安心して預けられ子どもたちも笑顔で楽しく過ごせるよう心掛けています。



写真左) 仲良し二人、一休み
写真右上) 保育ボランティアとの一コマ
写真右中) プレイルームには小さな遊具もあります
写真右下) 大好きなレール遊び

こども
国際
事業

韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮にルーツをもつ子どもたちが集まり、民族講師（ソンセンニム）や友達（チング）と自分たちの歴史や言葉、遊びなどの文化を学んでいます。毎月第3土曜日午前中に開催。

共催団体の豊中市在日外国人教育推進協議会の先生方より

2017 年度を振り返って

今年度も、多文化フェスティバルに「ことばとあそびのつどい」から、体験ブースを出しました。「ノリゲ」という韓国・朝鮮の組みひものブースでは、「つどい」の子どもたちが、たくさんの参加者の作品作りのお手伝いをしていました。また、ブースを飛び出して、「楽しい体験ができますよ！」と積極的にアピールをしていました。また、韓国・朝鮮のお手玉「コンギ」遊びのコーナーは、おとも子どももとても盛り上がっていました。



写真上) ハングルを使ってのゲーム
写真下右) 多文化フェスティバルでの「コンギ」コーナー
写真下左) 第1回「つどい」開級式

2018 年度に向けて

2018 年度も、子どもたちが楽しめる内容を民族講師のソンセンニムと作っていききたいと思います。韓国・朝鮮にルーツのある子どもたちが安心できる居場所となるような「つどい」を続けていきたいと思っています。



多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりをさまざまな角度から行っています。(文化庁委託事業) 15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターはもちろん、地域で色々な活動に取り組んできました。



コーディネーターより

2017年度を振り返って

今年度はイベントをもつ機会が少なく、「参加者がふらっと訪れる」ような感じから出発して、その日の場の中身を紡いでいくような1年でした。下記の来年度の抱負を意識しつつ、ふとしたやりとりのなかで、あるいは踏み込んで話しあったなかで、「無条件の生が肯定される」。そんな場でありたいと思っています。



写真上) 外国にルーツをもつ若者キャンプを豊中市立自然の家 わっぱるでおこないました。当協会と、箕面市国際交流協会に集う若者たち含め、10人で1泊2日で行いました。自分たちの興味関心や、思ったことなどを語り合いました。

研修会を開催しました。写真左)「日韓の間で考える表現の不自由」(講師: 岡本有佳さん(編集者))
写真上右)「居場所の可能性～富山“ひと”のま“実践に学ぶ”」(講師: 宮田尊さん)

写真下) 国際交流フェスタで挽き立てコーヒーを販売しました。



2018年度に向けて

場に多様性やメリハリ感をつける (「テーマに沿って話す場」「料理をつくる場」「イベントをしてみる場」など日でわけ) 2.スケジュールを見える化する、3.教科書ことばでない人権／権利を学ぶ、など。

多文化こども
エンパワメント
事業

とよなかこどもにほんご教室

日本語学習が必要な子どものための日本語教室 (月曜日・木曜日 15:00～18:00、土曜日 14:30～17:30)
(日本語指導者グループ「とよなか JSL」、とよなか国際交流協会が協働で実施)

とよなか JSL より

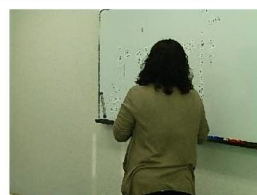
2017年度を振り返って

言葉は生きる力。外国ルーツの子ども達に、自らの力で進路を切り開いていける、また、学校や地域で、心から話せる友達ができる、そういう日本でしっかり生きていくための礎となる日本語の習得を目指して、集中して教えてきました。諸事情により、本年度3月をもって活動を終えることとなりましたが、これまで、何人もの卒業生が、高校、大学へと進学できる力をつけていってくれたことは、私たちの喜びです。



写真上) 先生方には毎年国際交流センターのひな人形を飾り付けていただいています。

写真右) 熱心に指導いただきました。



2018年度に向けて

私たちの授業の基となったメソッドというべき教案集が、今年、出版されます。外国ルーツの子どもたちと、その子たちにかかわるボランティアさん達が、いつかどこかで、役立ててくださることを願っています。

